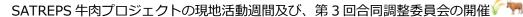
ニュースレター第14号(2025年7月)









コロンビア国: デジタルプラットフォームを活用したルーメン微生物フローラ と草地管理の最適化による牛肉バリューチェーン創出プロジェクト















7月14日~18日、**SATREPS 牛肉プロジェクトの現**

地活動週間及び、第3回合同調整委員会が、コロンビア農牧研究公社(AGROSAVIA)トゥリパナ研究センタ

一で開催されました。



7月 18日、JICA コロンビア山田章彦支所長を始め、 サンドラ・リベロ AGROSAVIA 計画・組織協力部 長、コロンビア畜産連盟(FEDEGAN)マヌエル・ゴ メス持続可能なコロンビア畜産部長、国際農業研究協 議グループ・国際熱帯農業センター(CIAT)ルス・ ムニョス代表が合同調整委員会に参列しました。日本 からは、名古屋大学と中部大学の教授・研究者らが出 席し、更に、在コロンビア日本国大使館やコロンビア 農牧院(ICA)もオブザーバーとして参加しました。



プロジェクトメン バーは、期待され る4つのプロジェ クト成果及び、そ れぞれの進捗状況

と目標達成に向けた今後の取り組みについて発表 し、ミニッツに署名を行いました/。 7月16日、プロジェクト メンバーは、畜産環境が異 なる2つの牛肉生産農家を 訪問しました。一つ目は先 進技術を取り入れ、林換放



牧や環境認証等も取得している大規模農場。もう一つは技術支援を受けながら、より持続可能な畜産を着実に導入している家族経営の農場でした。



7月15日には、小規模農家と ワークショップ「牛の栄養とグローバル技術」を実施しました。コロンビア産の牛肉トレーサビリティについて、品質と持

続可能性を確保し、新たな国際市場への扉を開くための取り組みについて紹介されました。ワークショップを通して 環境に配慮し、技術を活用しながら高品質な牛肉を生産す



ることは、コロンビアの畜産 の未来にとって不可欠である ということを学びました。

JICAコロンビアは、コロン ビアの持続可能な畜産を推 進していきます!! ■ ¶ ♪

プロジェクト概要は、こちらの QR 字コードから



JICA コロンビア支所 Facebook

